

持続可能な

農業の未来を考える

ミカンを食べれば二酸化炭素が減る？

—環境再生型かんきつ農業とバイオ炭がつくるゼロカーボンの未来—

趣旨：本シンポジウムは、環境再生型かんきつ農業の実践と、その科学的根拠を共有し、果樹園を核とした土壤炭素貯留、バイオ炭利用、森林・水田との連携による地域循環型ゼロカーボン農業の可能性を学術的・社会的に議論することを目的とする。

対象：研究者、行政関係者、農業者、学生、一般市民

主催：ユウギボウシ愛媛

共催（依頼中）：茨城大学GTech

株式会社炭そだち研究所

高槻バイオチャーエネルギー研究所

日本有機農業学会

*講演内容（予定）

- ・環境再生型かんきつ管理の実践
- ・果樹園における土壤炭素貯留の可能性
- ・バイオ炭製造技術と地域循環—エネルギーと農業をつなぐ炭化システム—

- ・炭素を活かした農業と地域資源循環の実践

- ・環境再生型管理が土壤環境と果実品質に与える影響

- ・炭化技術の定着とかんきつ廃材の地域利用、森とのつながり

- ・バイオ炭の水稻利用と農業全体への展開

- ・環境再生型かんきつ農業の社会実装と地域循環モデルの可能性

宮部 元治（ユウギボウシ愛媛）

小松崎 将一（茨城大学）

島田 勇巳（高槻バイオチャーエネルギー研究所）

猪谷 保富（株式会社炭そだち研究所）

甲斐 貴光（人間環境大学 総合環境学部）

鶴見 武道（千年の森をつくる会 元愛媛大学）

浅木 直美（愛媛大学 農学研究科）

大橋 麻輝（一般社団法人 エシカルテロワールジャパン 2026年2月設立予定）

1. 開催日：2026年2月21日（土）<現地見学会：22日（日）>

2. 時 間：13:30～17:30 受付12:30～

3. 会 場：愛媛大学農学部 大講義室

〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号

*Zoomを使ったハイブリット開催です。オンライン・現地見学を希望される方は以下またはQRコードよりご登録ください。

問い合わせ先：ユウギボウシ愛媛 大橋麻輝（mikaring.p@gmail.com）

*お願い：公共交通機関でのご来場をお願いします



ピーテックス



グーグル